

## 第6回 亀山市総合計画審議会 議事録

開催日時	令和4年3月24日(木) 14:00~16:00
開催場所	亀山市役所本庁舎 3階大会議室
議事項目	1. 会長あいさつ 2. 第2次総合計画基本構想の変更及び後期基本計画の審議 3. 第2次総合計画基本構想の変更及び後期基本計画の答申 (1) 答申案に関する協議 (2) 答申
議 事	<p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>委員 15名中9名の出席により、会議が成立している旨ご報告する。</li> </ul> <p><b>1. 会長あいさつ</b> 【会長よりあいさつ】</p> <p>(会長)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>会議の傍聴については認めることとしたいが、いかがか。</li> </ul> <p>(各委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>異議なし。</li> </ul> <p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>本日について、傍聴者はなし。</li> </ul> <p><b>2. 第2次総合計画基本構想の変更及び後期基本計画の審議</b></p> <p><b>資料1 亀山市総合計画審議会の審議状況等について</b> 【事務局より資料説明】</p> <p>(会長)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>改めて確認させていただく。説明が昨年からは始まっているが、一つは、お手元にあると思うが、この基本構想、これは行政の最上位にある、どちらかというとも将来の指針を示したようなものだが、まずこちらの変更、見直しをやっていただいた。さらに、今度はお手元にある第2次総合計画、これは正に骨格となる総合計画だが、こちらについて、これでいうと第3回以降になるが、皆さんから書面でご意見をいただいた。それぞれ2回のやり取りをしていく形でやってきた。本来、これは変更しなくてもよい場合も多いが、亀山の場合は、時流が大きく変わってきた中で、やはり構想自体も変えた方がよいだろうというご意見があったので、かなり大きく見直していくことになった。この経緯があったことで、当初の予定からずれ込んで、6月下旬に策定していくスケジュールになっている。これでいうと2月10日に、書面で、市長から私に対するの諮問があったことになる。それで、6月計画策定というスケジュールで進んでいることになる。</li> <li>これからの審議では、皆さんからご意見をいただいたので、今日はそれを振り返ることと、併せて本日は最終の審議の場なので、もし皆さんから何かご意見があれば承りたいと思っている。ただ、これを見ても分かる通り、非常にスケジュールがタイトなので、例えば今日意見が出たものを、もう1回持ち帰って、もう1回皆さんにという機会が、恐らくなかなか取りづらいのではないかと思います。もし何か新しい意見、修</li> </ul>

正意見等が出た場合は、大変申し訳ないが、その修正については私に一任をいただくことにさせていただいてもよいか。

(各委員)

- 異議なし。

#### 資料2 亀山市総合計画審議会の委員の意見等と市からの回答について

【事務局より資料説明】

(会長)

- 延べでいうと180あったということである。その中で、特に修正をしたものや、文言修正も含めてだが、ここでは40ぐらいピックアップしてもらった。
- 恐らく皆さんが指摘したご意見・質問もあると思うので、ここでは挙手制で、皆さんからご意見をいただきたい。

(委員)

- まず、我々の意見をくみ上げて、あらゆるところに目を通して修正を加えていただいて、非常に適切になっていると評価させていただきたい。
- 気になったのは、「ポストコロナ」と書いてあるが、これでよいのだろうか。要するに、「ウィズコロナ」や「ポストコロナ」などいろいろある。

(会長)

- 今は「ウィズ」、「ポスト」、それから「アフター」を使う場合もある。

(委員)

- 特にどれがよいというわけではないのだが、その辺は考えたうえで決めたのか。それとも、作ったのが少し前なので、その影響があるのか。

(会長)

- こちらは、統一はされているのだろうか。市としては、「ポスト」に統一したということではどうか。これはいろいろな文言を入れてしまって、どう違うのかという質問がよくある。事務局、どうか。

(事務局)

- 今ご指摘いただいたとおりである。「ウィズ」と「アフター」と「ポスト」とあるが、私どもとしては、コロナの感染があって以後すべてを指すということで、「ポストコロナ」と統一で表記をしている。

(委員)

- 本当に収まるかが、この半年ではわからないから、少し気になった。それから、そのような指摘を、また別の所で受けるかもしれないと思った。

(事務局)

- まだ終わっていないということ、「アフター」ではないということで、少なくとも「ポストコロナ」ということなので、すべて「ポストコロナ」に合わせている。まだ感染症が収まったわけでもないのに「アフター」でもないと思う。「ウィズコロナ」にも違いはないわけだが、「ポストコロナ」と表記すれば、すべてが同じ状態になるので、「ポストコロナ」という表現をさせてもらっている。

(会長)

- それでは、他にももしご意見あれば、いかがか。かなり細かく修正をいただいているので、「てにをは」のものもあり、内容が少し変わったものもあると思う。それから、表

現としてふさわしくないものも変えていただいている。皆さん、かなりいろいろ細かくチェックしていただいたので、反映はされていると思うが、気になるところがもしあればお願いしたい。

(委員)

- 基本構想では、「JR 亀山駅、関駅、井田川駅」という表現になっている。後期基本計画案では、それで頭に「JR」をつけるということだが、「JR 亀山駅、JR 関駅、JR 井田川駅」という表現になっている。わずかなことだが、基本構想案と表現が違っている。亀山駅には、頭に「JR」がついているけれども、関駅と井田川駅にはついていない。

(会長)

- 構想の方は、「JR」がついていない。まとめてしまっているということである。これも確かに統一した方がよい。
- 修正案のこれかというと、2ページの36以降のところ「JR」をすべてつけるという修正になったが、基本構想ではすべてついていないということである。亀山駅にしかついていないということだが、事務局は、この表記についていかがか。

(事務局)

- まず基本構想は、この都市空間形成方針については、今回一部の変更は行わないということで、策定当時のものに据え置かせていただいた。今回、どうしても外部環境の変化によって修正をしなければならない部分だけ、構想は変更を行っている。後期基本計画のように、新たに策定するものではないので、その辺の用語の微調整まで修正をすることは行わないという考え方である。

(委員)

- あまりこだわるわけではないが、私も基本構想は多分変えないだろうと思っていた。そちらの方が早く、それで通っているからよいが、同じ意味なのに、あえて違う言葉を使うことが聞きたい。別に一緒にしてもよいような気がする。後期基本計画を、別に「JR 亀山駅、関駅、井田川駅」として、何か問題があるのかということである。

(事務局)

- 後期の方を合わせにいくという考え方については、検討させていただきたい。

(会長)

- 検討いただけるとのことなので、こちらの方、後期の方を変えるかということである。こちらは、またお任せいただければと思う。
- 今、皆さんからご意見をいただいた。場合によっては統一というところが、一つ修正ということを出てきた。このような内容については、修正案のとおり修正をいただくという結論にしたいと思う。よろしいか。一部持ち帰ったものについては、私とも相談をしたうえで、訂正させていただきたいと思う。
- 基本的には、この修正案をもって、この次に答申となっていくわけである。もし何か、その間修正等があった場合は、先ほど申し上げたように、申し訳ないが、私に一任いただくことにさせていただきたいと思う。
- それでは、次に事項書2に入ってもらいたい。こちらは、答申案の審議に移らせていただくので、事務局から答申案の配布をお願いしたい。
- 資料3を配っていただいた。こちらは答申案ということで、事務局と私で、いろいろ調整をしながら、こういった文言を作らせていただいた。先ほどの皆さんからいただいた修正案とそごがない形で、まとめさせていただいている。では、まずこちらについて、事務局から説明をお願いしたい。

### 3. 第2次総合計画基本構想の変更及び後期基本計画の答申について

#### (1) 答申案に関する協議

【事務局より資料説明】

(会長)

- 答申案は、大体このような形式を取る。審議会から市長に対して答申をする形を取っている。これも一般的なパターンだが、前半はどちらかというと、まずこれが適当か適当でないか、つまり、修正案を含めたこの作っていただいた案を、「適否」というが、適当かあるいは否かを審議会で議論した結果、ここでは「適当」と書かせていただいた。一生懸命修正をいただいたので、一応、会としては、これは審議を重ねた結果、適当と認めさせていただくというものが、前半部分になる。そして後半に、ただこのようにことに留意して、今後計画を作ってくださいという、いわゆる注意書きのようなものを三つ、その下の「記」以降に書いてあるという作りになっている。
- まず分けて皆さんにご意見を伺いたい。最初の「適当」という、これは比較的形式的な表現だが、この諮問案の適否ということでは、「適当」という形になっている。これはあくまで皆さんからのご意見で、修正いただいたものを反映させていただくことを前提に、適当とさせていただいてよろしいかということだが、いかがか。よろしいか。それでは、「適当」であるという、この上の表現については、適当ということで答申をさせていただきたいと思う。
- それでは続いて付帯意見のところだが、先ほど読んでいただいたが、分かりにくいところもあると思う。これは適当なのだがということで、一応付帯意見として、まず亀山の今後の人口減少や少子高齢化、こういったものが進行していく可能性がある。これは人口の動態を見ていると、恐らく亀山市も、今、一時的には人口をキープしているが、将来は減っていく可能性がある点。それから、災害リスクの高まり。それからもう一つは、この計画の中にも入っているDXデジタル化による効率化も、非常に重要である。さらに、これも入れておいた方がよいと思うが、新型コロナウイルス感染症の影響によって、本市を取り巻く情勢は、これまでも増して大きく変化をしている、これが現状である。こうした環境変化にうまく適応しながら、中長期的な視点にあって、ここからSDGsとの絡みでいうと、持続可能なまちづくりを推進する、そして、これは亀山が伝統的にやってきたこの協働である。市民、団体、企業等の多様な主体が協働すること、亀山の場合、これも入れておいた方がよいと思う。そしてSDGsの達成を目指した取り組みを実践してくださいということを、一つめとして加えさせていただいた。これは、現在も非常に変化が大きい時代の中で、この亀山市がこれまで取り組んできた皆さんとの協働の取り組みを、ある意味では持続可能なまちづくりと併せて進めていってほしいという思いが、一つめになる。
- それから二つめは、よくこれは、私も他の自治体でも必ず言うのだが、計画は作った時点で自分たちではもうできたと終わってしまった感が強い。計画がほぼできたから、これでおしまいではなく、これは実はスタートなのである。例えばこの計画が、本当に効率的に、あるいは市民の皆さんの公益にかなう形で進捗しているのか、これを常にチェックして、次のアクションにつなげていく、よくPDCAサイクルというが、これを回していかななくてはいけない。だから、できただけで終わるのではなく、これからきちんと回っているのかどうかを常にチェックしましょうということで、二つめを入れさせていただいた。これは評価の点でも、もちろんそうであるし、それを、単に数値目標だけ達成したらおしまいではなく、それを次のアクションにつなげていく

ことが、計画を作るうえでは大事であるということである。くれぐれも市長に対して申し上げたいことは、これは作って終わりではないと、これがきちんと達成されるかどうか、我々は常に見ていると、そういうことが二つめになる。

- それから最後だが、これは恐らく、計画はいろいろなことを盛り込んでいるが、やはりその一つのネックになるのが財政状況である。財政との絡みでいうと、やはりできる、できないということもあると思う。では、財政がひっ迫して、非常に厳しい状態になっても、この計画をやっていくのかということ、やはり見直す点も必要になってくると私は思う。ここにも書いたとおり、健全な財政運営、これが両立できるように、つまり、一方できちんとした財政があって、一方では進めていくべき計画があって、この両輪を常に意識しながら進めていってほしいと、さらにいうと、例えば非常にコストがかかるからできないではなく、財政上ではできないけれども、では例えば行政改革、行革を進めて、ある程度ここをカットすれば、こういうこともできるではないかという視点の転換が必要になってくる。このようなことも踏まえて、できる、できない、ではもうだめだ、ではなく、では、どうすればできるのかということ、常に財政状況を見ながら、考えながら進めていってほしいということが、三つめである。それで、1、2、3と挙げておいた。
- 例えばこれを4にしても5にしても、全然問題ないのだが、あまり細かく挙げてしまうと、逆にこれはあくまで市長に対する答申なので、むしろ「このような点をお願いしたい」というお願いしたいポイントを、ここで書かせていただいたということで、これはもう、こちらの会があるので、具体的な中身については、一切触れていない。では、二つめは、この点について皆さんからご意見、あるいは例えばこのような点に留意して、この計画を策定されたいという思いが必要だと思うが、例えばこのような視点を入れてみたらどうだなど、ご意見がもしあれば、いただければと思う。あと30分ぐらいすると、ここで市長にこれをお渡しすることになる。今、資料3と書いてあるので、あくまで案であるが、あと20分ぐらいの間に、これがいつの間にか「資料」が取れて、実際に答申をするというプロセスになる。最後に、もし皆さんからこういう思い、あるいはこういう要望があれば、加えさせていただきたい。

(事務局)

- 誠に申し訳ないが、ご審議いただく前に、1番の項目だが、一つフレーズが抜けている。最後の行だが、その前の行から「市民や団体、企業等の多様な主体と『関係』・協働し」ということで、失礼をした。「関係」を追加いただきたいと思います。

(会長)

- 「関係・協働」ということか。

(事務局)

- 「関係・協働し、SDGs達成を目指した」ということである。それで審議いただきたいと思う。

(会長)

- 今、事務局から少し修正が入った。よろしいか。文言もこれでよろしいか。それでは、特に修正がないということなので、今の「関係・」を入れたものを、答申案として確定したいと思う。
- それでは、この答申案だが、事務局で再度取りまとめていただき、答申案の原本を作成いただきたいと思います。よろしくお願ひしたい。
- 今、作業にかかっており、少し修正までの時間があるということなので、これは私もかつて皆さんから最後にご意見をいただこうと思っていたのだが、こうして皆さんの顔を見ながら直接お話を聞く機会がなかなかなかったので、本当に最後の最後で恐縮

だが、皆さん全員から何かご意見・ご感想を、最後に一言いただければと思う。例えば、どのような亀山市にしたいという思いでもよい。あるいは、今回の答申案の修正を通じて、このようなことが分かった、このような苦勞があったというお話でもかまわない。ただ、時間の関係で、お一方で多分1分少々ぐらいになると思う。席順からということではよろしいか。

(副会長)

- 石阪先生がおっしゃった基本計画、これからが始まりということだが、それを、目的が達成されたかを検証する場はないか。

(会長)

- 恐らく評価はあると思うが、どうか。これを検証、進んでいるのかどうかをチェックしたり検証したりする、例えば組織、委員会は、今後どのようなところがやっていくのか。

(事務局)

- 今、施策が300近くあるが、それぞれの施策に対して、どのような事業を行って、どのような取り組みをして、その結果がどうであったかは、今後、計画が動き出すと、これまでもやってきたが、施策の評価を毎年度行う。その結果は、毎年の議会に提出し、その中でも審議をしていただく。

(副会長)

- 議会だけか。

(事務局)

- そういうことである。取り組み成果については、前期のときもそうだが、皆様方に5年間の期間が、基本計画の期間が終わったら、そのときの成果もお示しすることも行っている。今後についても、その取り組みの状況については、随時明らかにしていきたい、公表させていただきたい。

(副会長)

- むしろこの会議で検証した方がよい。

(会長)

- 確かに、検証は大事である。私も結構いろいろな自治体に行って、評価委員というものをやっている。行政がこれまで取り組んできたことに対して、例えば点数化をしたり、あるいは「もう少しこうした方がよいのではないか」と提案をしたりする機会が結構ある。もちろん、内部での評価は非常に大事である。けれども、例えば今後市民の皆さんが評価に関われる機会を作ってみたり、あるいは評価結果をホームページ等で公表したりすることはいかがか。

(事務局)

- 公表は、これまでもしており、今後も当然行っていく。ただ、その評価について、例えば一般の方にも入っていただいて、その取り組みの内容などを評価していただく仕組みについても、今後研究をしていきたいと思っている。

(委員)

- 今、事務局から説明があったことは、大変重要なことである。私の知っている限り、この評価は第一者評価である。第二者、第三者評価ではない。今おっしゃったように、市民であったり、少なくとも第二者、第三者の評価のうえで公表して、これがやはりうまく行った、行っていなかった、では、次にプランへもう一度戻さないといけない、というPDCAに回っていくと思う。残念ながら、今のところ、作った人が作った立場で評価をするので、少し疑問を以前から感じている。

(会長)

- 今後の評価について、いかがか。恐らく総合計画の評価というよりは、事業評価のことだと思う。

(事務局)

- 事業評価については、外部評価を入れているので、一部分についてはできているわけである。ただ、施策まで外部評価ができているかという点、そうではない。今、委員が言われたような全面的にそのようなものを取り入れているわけではないので、やはり今後研究課題にしていきたいと思う。

(会長)

- 他の地域だと、例えば幾つか政策をピックアップして、市民の皆さんからご意見をいただいたり、評価をいただくことをやっており、評価に向けたいろいろな取り組みは、各自治体でバリエーションがある。ぜひ市民の皆さんがこういった評価に関われる機会があると、こういった進捗などをしっかり第三者の目で見る機会が確保できるのではないかと思う。こちらは、今、検討いただくということだったので、いわゆる総合計画だけではなく、事業評価の点についても、今後何らかの評価のあり方を検討する場を、ぜひ作っていただきたいと思う。
- では、今あったように、こちらの答申案については、この答申案で行きたいと思う。ただ、今、委員の皆さんからもあったように、特に2番め、事業評価のことや、計画は作っただけではなく、きちんと評価するまでが実は計画なのだという点をしっかり踏まえたうえで、今後この進捗のあり方を検討いただきたいと思う。
- それでは、こちらから順番に、一言ずつお願いしたい。感想でもかまわない。

(委員)

- なかなか書面審議が多く、対面にはならず、何となく文書を読みながら、細かいことを見せていただきながら、あまりお役には立てなかったと反省をしているところである。皆さんにたくさんの意見をいただいて、それぞれが思いを強く持っていらっしゃることに、まずは感激した。
- 思いとしては、やはり亀山市の財政力が、だんだんと弱まってきているところで、そこを何とかするところで企業誘致などにこれからも積極的に取り組んでいただいて、財政力を上げていただくこと、まずはこれが大事だと思う。それらを使って、子育て、たくさんの市民の方々によそから入ってきていただいて、子育てのまち亀山、学びの亀山というところで、やはりこれからの未来を担う子どもたちのために、その投資がなされてほしいと思いながら、この総合計画を見せていただいた。ここに書かれていることが、絵に描いた餅にならないように、ぜひ実践をしっかりと進めていただきたいと思う。以上である。

(委員)

- いろいろ書面のチェックの中で、一応、気になったことは、やはり総合計画なので、具体的な施策になっていないのは分かるが、先ほどの話にもあった、実際の事業計画になったときに、具体的な施策になったらよいと思う。
- ただ気になったことは、まちづくりの関係は、多分だいぶ前からやっていることが、今ほとんどできていないことが多い。それが、この新しい総合計画になって、何か思い切ったことをやるのかと気になる。これからもっと見ていきたいと思う。
- 付け足しだが、言葉として「ユニバーサルデザイン」という言葉が、結構出ているが、これも気にしていただきたいと思っている。以上である。

(委員)

- ここへ来させてもらって、よく勉強させていただいた。本を読む以上に読ませていただいたというのが本音である。その中で、特にたくさん提案させてもらったが、大体受け入れてもらったのが本当にうれしかったというのが本音である。社会福祉協議会のような組織は、基本的には困っている方たちのために市民が一体何をするのか、困っている人も市民なのだから、どのように行政も含めて一緒になって、そのような困りごとを聞き、それを整理し、市民力を立て、よい方向に向けていくのが、一番の仕事の一つになっている。その辺の書き方が中途半端だと、結果的には、やってもやらなくてもよいような形に終わってしまうのが、やはり一番問題だというぐらいに思っていた。そういった、うまく書かれていない部分についても、相当突っ込んで議論をさせてもらってありがたいと思っている。大半受け入れていただいたのは、我々のように社会福祉に従事している者にとっては、非常にありがたいことだと思っている。
- 一つだけ、これはまた考えていただきたいのだが、後期計画の24ページに書いてある「『ひとりぼっちをつくらない』安心の共生社会の構築を目指します」とある。これは、「ひとりぼっちをつくらない」という言葉をよく使うのは、櫻井市長である。この言葉が好きなのである。しかし市長の気持ちも分からなくもない。なぜかというと、本当にひとりぼっちの人が市民の中にいるのではないか、だから、ひとりぼっちを作ったらいけないのだと言いたいのだという気持ちも、何か伝わっている部分がある。ここに書いてもらっているように、表現としては「重い」と書いてもらっており、そのとおりだと思うので、あまりそこに議論を持っていかなかった。しかし、重い課題のある人が、市民の中にたくさんいるのだという意識だけは、我々自身が共有しておかなければいけないと思う。

(会長)

- 今後、孤独や孤立支援が、恐らく自治体の施策に入ってくると思うので、こういったことは、今後、亀山市がどのように対応していくのが、非常に大事だと思う。

(委員)

- 非常に分厚い資料で、最初は本当に読むのも大変だった。私がこのような所にも大丈夫なのかという感じで読ませていただいて、やはり、これからの若い方が、亀山に住んで、本当によいと思っていけるような施策になっていったらよいのではないかと考えている。以上である。

(委員)

- このような会にまず参加できたことを、非常にうれしく思っている。そして、皆さんもおっしゃっていたが、本当に分厚い資料をしっかりと読ませていただいて、このようなことを亀山市は考えているのだということを知ることができたことが、よかったと思う。それでまた、誰にとっても優しい町であるところが、本当に希望である。私は今、主婦で子どもが2人いるが、学校に通っていることが当たり前と思わずに、いろいろな立場の子どもがいることも、いろいろ学べている。そういう子にも、等しく同じような教育を受けさせてあげられたらとも思っており、そういうところにもしっかりとクローズアップしていただいているのだと感じられた。やはり若い世代の方にたくさん入っていただきたいということで、先月、発表されていたが、コストコの誘致なども、非常にぴったりだと思って、うれしく思っている。そしてリニアについても、またしっかりと進んでいくとよいと思っている。

(委員)

- まず一つめに感想である。先ほども事務局が言っていたように、やはり今回は、この書面審議の時間が非常に、タイトどころではなくダブルタイトだった。読めば読むほど、時間がない。これはもう、事務局にとっても一緒だと思う。まずこのところが、

やはり今後このような場がある場合においては、もう少し余裕を持っていただきたいということが1点めである。

- 2点め、答申案の3番めの末尾に「積極的な行財政改革」と書かれている。実は、私はこの行財政改革の委員をやっているの、その行財政改革が、今現状いかなるものか、十分承知している。ここに書かれた答申のように、さらに気を引き締めて、積極的に立ち向かわなければいけないことは、市当局ともども感じているので、進めていきたいと思う。以上である。

(委員)

- 大変難しかったのだが、私のためにはなった。しかし、その辺から考えていくと、またこのあとの進捗具合を見ていこうということがあり、私もそれに注目して、これから携わっていかれたらと思っている。感謝しかない。

## (2)答申

(会長)

- やはり皆さんがおっしゃっていたのは、計画、最終的には、この計画ができるのは、あくまでもスタートであって、これから皆さんの、ある意味ではチェックや、逆に進捗を見守る目が非常に大事になってくる。市当局も、これを作ってしまった終わりではなく、これからこれをどのように実現し、よりこれが市民の幸福や幸せにつなげていくのかということ、ある意味では、市も頑張っていて取り組んでいただきたいという思いが、皆さんの言葉にこもっていたと思う。
- それでは、市長に対して諮問いただいたので、これに対しての答申を行いたい。非常に文言が長いので、省略して読ませていただく。
- 当審議会において、慎重に審議を重ねた結果、適当と認められるので、まずその旨答申させていただく。また、改めて付帯事項を設けた。市民の皆さんから付帯事項を十分留意のうえ、今後の計画進捗に役立てていただきたいと思い、答申をさせていただく。よろしく願いたい。

(櫻井市長)

- 会長はじめ総計審の委員の皆様方には、この1年間、大変ご審議のお世話をかけた。誠にありがたい。特にコロナ禍ということで、なかなか会議自体に制限がかかっていた。あるいは、今回当初は計画をしていなかった基本構想自体の見直しにも踏み込むことになった。そういうこともある中で、委員各位の皆様方には熱心にご審議をいただき、ただいま答申をちょうだいした。本当に厚くお礼申し上げる次第である。このうちは、答申の内容を、さらにはこのご審議の過程で、大変貴重なご意見をいただいているので、まずそれをしっかり踏まえて、計画の策定、先ほど石阪会長からもお話があった、この計画は終わりではなくて、これがスタートである。なかなか環境変化が激しい時代の中で、本当に持続可能なまちづくりがしっかりできるように、この計画の推進に向けて最大限の努力をしてまいりたいと考えている。どうぞ委員の皆様方におかれては、引き続き市政進展にご理解と、またご鞭撻を賜ることを心からお願いを申し上げるとともに、後ほど新しい春、スタートの時期であるので、どうぞ委員の皆様方には、ますますお元気でご活躍をいただくことを、心からご祈念申し上げ、一言お礼のご挨拶とさせていただきます。大変お世話になった。

(会長)

- それでは、事務局にお返しする。

(事務局)

- 1年あまりに及びご審議、コロナ禍の中でのご審議をいただいた。誠にありがたく思う。それでは、これをもって総合計画審議会を閉じさせていただく。なお、今後とも市政に対する変わらぬご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。